

## 新型コロナウイルス 医療態勢の強化を支援

報道関係各位

2020年4月21日

### 空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 佐賀大学医学部附属病院に トレーラーなどを貸与・設置 高度救命救急センター前にトリアージ室

特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン（本部：佐賀県佐賀市、代表理事：大西健丞）が運営する「空飛ぶ捜索医療団 ARROWS（アローズ）」は、佐賀県の救命救急の中核を担う、佐賀大学医学部附属病院に、22日トリアージ用のトレーラー2台と大型クリーンパーティション1台（空気清浄機、感染症対策製品）を貸与・設置します。



大阪の病院に設置したトレーラー。佐賀競馬場に保管している同型を設置する



佐賀市久保田支所に保管しているトレーラー

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、医療態勢の整備が急がれる中、病院に搬送された患者を駐車場に設置したトリアージ室で隔離して診察し、緊急度や検査の必要性を判断。一般の患者と動線を分けることで、医療崩壊につながる院内感染を防ぐ狙いです。

緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大され、医療現場では、マスクや防護服などの保護具の不足が深刻化する中、コロナ患者が増加する事態に備えて、院内感染・医療崩壊を防ぐため、院外でのトリアージのニーズが高まっています。

ARROWSでは3月5日に大阪の病院にトレーラー1台、4月7日にエアータント1台、3月13日にも広島 of 病院にエアータント1台をトリアージ室として貸与・設置しており、院内感染の防止に役立っています。

下記の日時・場所で、トレーラーの搬入・設置作業を行います。

日時：4月22日（水）13時～

設置場所：佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター入り口

立会者（予定）：阪本雄一郎（佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター・センター長）

新型コロナウイルス感染症の影響を少しでも減らすため、あらゆる力を結集し、一人でも多くの命を救う取り組みが求められています。報道機関の皆様におかれましては、ぜひご関心をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

◆ARROWS（アローズ、Airborne Rescue & Relief Operations With Search）：

<https://arrows.red/>

◆本件に関するお問い合わせ：ARROWS 広報

アジアパシフィックアライアンス・ジャパン 根木（TEL:0952-20-2900、携帯：  
080-6814-7177）

pr@apadm.org

参考：クリーンパーティション <http://www.airtech.co.jp/products/kanseneg/12441/>